きくばり職場のかかりつけ

2026年10月
カスハラ対応義務化対応



カスハラ義務化への備えも、人が辞めない職場づくりも。

2026年10月義務化に対応。
匿名AIと顧問社労士の伴走で、現場の本音を
組織の力に変える「職場のかかりつけ」。

法的義務化と止まらない離職。
形骸化した窓口では本音を救えない



従来の社内窓口の限界

専任担当がいないまま
2026年10月の法対応が迫る現場。
社内窓口には警戒心から本音が
届かず、兆候を掴めないまま
突然の離職に至っています。



AIの傾聴 × 社労士の伴走

24時間匿名のAI窓口が従業員の
本音を受け止め、顧問社労士が改善に
伴走。**「守りの法対応」**と「攻めの
離職防止」を同時に実現します。



現場の声を逃さない
3つのAIと、
専門家による確かな解決循環

傾聴から分析、人事施策まで。AIの即応性と
社労士の専門知識が連携し、組織の健康を守ります。



ともに
つくる
健康な職場

目的別に連動する3つのAI機能

守る ハラスメント相談窓口AI

24時間365日匿名受付。
対応証跡を自動保存し、
危険兆候は有人へ引継ぎ。

聴く パルスサーベイAI

月1回・全6問（約30秒〜2分）
で組織コンディションを
定点観測。

従業員の本音
悩み・不安・気づき



支える 保健室AI

日常の悩みや人間関係の
モヤモヤを傾聴・整理。
離職予兆を早期に察知。

統合診断レポート



顧問社労士
（専門的な判断）

経営者
（職場環境の改善）

客観データに基づく労務改善を実行

より良い職場環境へ

SAFE BY DESIGN（安心の仕組み）

徹底した匿名性と暗号化

通信と保存データは暗号化。運営会社の
閲覧は、障害対応時に事務所の同意を得た
場合に限られ、記録が残ります。
少人数の項目はマスキングされます。

AIと人の適切な役割分担

AIは傾聴と情報整理に徹し、
ハラスメント該当性や対応策の
最終判断は人（社労士・人事）が
行います。

PEOPLE
WORK
FOR A BRIGHT TOMORROW

導入の流れ

01
STEP1
お問い合わせ・
顧問社労士へのご相談

02
STEP2
アカウント発行・
「URLとあいことば」
案内

03
STEP3
即日運用開始
開発・インストール不要

04
STEP4
毎月の統合レポート
受領・改善実行



よくあるご質問

Q 従業員のプライバシーは守られますか？

A 相談内容は暗号化して保管され、読めるのは人事担当者と顧問社労士だけです。運営会社の閲覧は、障害対応時に事務所の同意を得た場合に限られます。

Q 社内システムの設定や開発は必要ですか？

A **不要です。**専用ソフトのインストールもいっさい無く、指定のURLを開くだけで即座にご利用を開始いただけます。

まずはお気軽にご相談ください。
資料請求・お見積りは無料です。

料金プランについて

企業の従業員規模やご提供形態に応じた柔軟なプランをご用意しています。お見積り・詳細資料のご請求は**無料**です。

きくばり公式サイト

https://kikubari-ai.jp/

お近くの取扱事務所まで

※AI相談窓口の開設に特別な機器や初期開発は一切不要です。